

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0786
施設名	西国分寺保育園
施設所在地	国分寺市西恋ヶ窪 2-18-1
法人名	社会福祉法人国立保育会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

混色遊び～何色になるか予想する～

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

日ごろから園庭での水遊びが好きで、移し替える遊びを楽しんでおり、色を付けて混色する楽しさを経験して欲しかった為。

2. 活動スケジュール

R7.05.30 9:30～11:00

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

・ コップ・醤油差し・食紅・ペーパータオル・ペットボトル

→子ども達からのつぶやきから、・洗濯糊・ホウ砂・水・割りばしを追加

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・無色透明の水から色水に変身する導入をし、色水に興味を示せるようにする。
- ・何色を作りたいか決める。醤油差しと空のコップに、赤・青・黄色・青の色水を使用し、作りたい色を作ってみる。
- ・紙コップ2つにそれぞれ違う色の色水を入れ、ペーパータオルの端をそれぞれ染み込ませ、何色になるのか予想する。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・混色を楽しむ中で、予想通りの色になる子ども達もいれば、混色をしすぎて、茶色や深緑等の複雑な色になっていて、驚いている子ども達もいた。
- ・紙コップを2つ使い、ペーパーを染み込ませていくと何色になるのか予想した。結果をじっと見て楽しみ、ペーパー全部の色が変わると思っていたとの発言があった。
- ・途中、醤油差しを使うことが楽しく、混色遊びから、表面張力の面白さを探求している子どもが出てきた。一気に入れるとこぼれるが、少しずつならこぼれないことに気付いていた。
- ・子どもからの発言もあり、スライム作りを行った。ホウ砂水を入れると、すぐに固まる様子に驚き、喜んでいた。入れるホウ砂水の量で触り心地に違いがあることを発見していた。

活動の様子が分かる写真 2枚以上を貼付してください。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

2～3色の色を混ぜ、違う色になることに気付くことをテーマとしていたが、それよりも、醤油差しを使い、とにかく様々な色をコップに入れたいという思いが強いと感じた。途中からは、混色よりも表面張力の方に興味に向く子がいた。「少しずつ入れるとこぼれない」と、表面張力の意味はわからずとも、実体験を通じて、こぼれない面白さを感じていた。子どもの姿やアクションを見て、柔軟に対応すると、別の視点で水について学べることがわかった。次回、混色遊びをする際には、色シールや画用紙を用い、「同じ色を作ってみよう」とクイズ感覚にすると、混色遊びに持っていきやすいのではないかと考えた。

